

フードシステム論

科目ナンバー 8D318
専門 地域経済系 選択
2単位

林田 朋幸

1. 授業の概要(ねらい)

国内外の食に関する問題について、多様な事例を通して概説します。調整がつけば、外部講師を招いてフードシステムの事例に関する講演・ワークショップを2回程度予定しています。この授業では、特に地域経済学科の学位授与の方針(ディプロマポリシー)DP2に関する知識・態度を修得します。

2. 授業の到達目標

国内外の食に関する問題を通して、自身の日常生活とフードシステムがどのように関わっているかについて具体的に説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点とテストで評価します。得点配分は平常点50%、テスト50%です。平常点は小レポートや質疑応答等を基に評価します。テストは論述式で、知識の修得度と応用力を問います。フィードバックは全授業が終了後に、希望者に対して口頭で行います。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用しません。講義プリントを配布します。

参考文献

生瀬寺真一 農業がわかると、社会のしくみが見えてくる―高校生からの食と農の経済学入門 (新版) 家の光協会、ISBN:978-4259518660

高橋正郎監修、清水みゆき編著 食料経済(第5版) フードシステムからみた食料問題 オーム社、ISBN:978-4-274-21922-1

時子山ひろみ 安全で良質な食生活を手に入れる フードシステム入門 左右社、ISBN: 978-4903500720

5. 準備学習の内容

講義の事前学習として、資料を配付する場合があります。これを通読し、分からない語句は辞書等で調べ、ノートにまとめるようにして下さい(1時間)。事前学習でまとめたノートは、授業時に持参するようにして下さい。事後学習として、配布資料の復習及び図書・新聞・WEB等で授業と関連する事例を調べ、ノートにまとめるようにして下さい(2時間)。

6. その他履修上の注意事項

流通経済学とは相関関係にあります。原則として、授業中は携帯電話・PCの使用を禁止します。携帯電話・PCの使用が必要な際には適宜指示します。また、授業中の私語は禁止とします。受講者の関心や授業の進行状況等により、授業内容が変更となる可能性があります。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション、食料問題をどう捉えるか
- 【第2回】 食の安全に対する消費者意識の高まり
- 【第3回】 食と農の距離
- 【第4回】 農・食をめぐる環境問題
- 【第5回】 自身の食生活から食料問題を考える
- 【第6回】 有機農業
- 【第7回】 新規就農
- 【第8回】 食品業界の概況
- 【第9回】 物流業界から見た食品流通
- 【第10回】 農業資材の流通
- 【第11回】 学生食堂の運営事例
- 【第12回】 地域の食文化
- 【第13回】 地域における食品加工
- 【第14回】 フードバンク
- 【第15回】 テスト、まとめ